



世田谷学園中学校・高等学校

理系・医療系志望者の才能を 磨く中学からの「理数コース」

①3年生の修学旅行で知覧特攻平和会館、種子島宇宙センター、屋久島を訪問②2年生のサマープログラムでは伊豆大島の三原山や大迫力の地層断面を体験③グローバルプログラムも充実。4年生全員が参加する海外研修④JA世田谷目黒のご協力により、トウモロコシや大根などの植え付けから収穫までを体験します⑤川村教授の特別講義。電磁誘導の電源不要ライト、回り続ける独楽などエネルギーの可能性を体感



PICK-UP

昭和大学と高大連携で医療を学ぶ

世田谷学園中学校高等学校は昭和大学との包括連携協定を結ぶこととなり、2024年3月22日に調印式が実施されました。昭和大学には医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部(看護学科、リハビリテーション学科理学療法専攻、リハビリテーション学科作業療法専攻)があり、医療を多角的に学べる大学です。患者さんが怪我や病気を治し、社会復帰を果たすには、様々な職種の医療スタッフの力が必要。本学園には医師を志す生徒が多いのですが、今後は医療現場の実像と、命の尊厳を学ぶプログラムを構築していく予定です。

「直近の優秀賞は理数から紙飛行機の飛行メカニズム解析、本科から下野薬師寺の戒壇設置の歴史などが選ばれました。今後外部のコンテストにも挑戦する予定です」(瀬川教諭)

バラエティに富む教育は医療、宇宙、ロボット、AI、データサイエンス、バイオテクノロジーなど多様な分野への道標となり、生徒の夢を結実させます。

生徒の「好き」を伸ばす。算数や理科が得意な生徒のため、世田谷学園が中学入学時から理数コースを導入して丸3年がたちました。理数教育アドバイザーはエネルギー科学を専門とする川村康文先生(東京理科大学教授)です。

「感性のしなやかな10代前半に、実験や屋外実習など体験型授業で知的好奇心を刺激し、時代の求める科学的思考力を涵養することが目的です」とは理数コース主任の秋元幸太教諭。

当学園の教育理念は「天上天下唯我独尊」。ルーツは16世紀末の曹洞宗学寮に遡り、一人ひとりがかけがえのない存在として輝き、社会に尽くすという仏教の教えを掲げています。



瀬川 祐 教諭
理科主任



秋元 幸太 教諭
理数コース主任

エキサイティングな理数コースのプログラム

「川村教授の下では分光器による省エネ電球の分析、電磁誘導の電源不要ライト、うず電流で回り続ける独楽などエネルギーの可能性を体感。近隣の農園で

野菜作りにトライする、埼玉県三富今昔村で江戸時代の循環型農業を手本に、たい肥作りをするなど環境学習も」(秋元教諭)

「2年生のサマープログラムでは伊豆大島へ。数十メートル規模の地層断面や、三原山の火山口巡りで大自然のダイナミズムを目の当たりに」(瀬川教諭)

3年の鹿児島修学旅行は、平和・宇宙・生命を学ぶため知覧特攻平和会館、種子島宇宙センター、屋久島を訪問。中でも新基幹ロケットH3や月着陸実証機SLIMを成功させたJAXAは、理系男子憧憬の的でしょう。

これらフィールドワークを引き金に、各自が興味ある課題を掘り下げる自主研究「世田谷サイエンスプロジェクト(SSP)」を実施。学校全体で行なっている「SETA学会」にも参加しました。

